

# 令和2年度農作物有害動植物発生予察情報 注意報第3号

令和2年7月1日  
山形県病虫害防除所

- 1 病虫害名 果樹カメムシ類（クサギカメムシ・チャバネアオカメムシ）
- 2 対象地域 県下全域
- 3 発生量 多い
- 4 注意報発表の根拠

ア. 6月後半の巡回調査（6月23日～25日）の結果、りんご、おうとう、ももなど果樹全般で果樹カメムシ類の被害が確認されている（表1）。

イ. 巡回調査地点や県予察圃場において、クサギカメムシ及びチャバネアオカメムシの成幼虫の寄生や卵塊が高い頻度で確認されている。

ウ. 向こう1か月の天候は、気温が高く、降水量は平年並か多いと予報されており、果樹カメムシ類の活動が活発になることが予測され、今後も被害が増加すると推測される。

## 5 防除対策

ア. 果樹カメムシ類の園内への飛来は、気温や湿度が高い日に多くなる傾向があるので、園内を十分に見回り、寄生状況や被害果の発生状況に注意する。また、成虫の園内への飛来は長期にわたり、7月下旬頃から新成虫も発生して密度が高まるため、成幼虫の寄生や卵塊を見逃さないように定期的に園内を見回る。

イ. 園内で成幼虫の寄生や卵塊、被害果が確認される場合は、薬剤散布を行う。

ウ. 薬剤の選定に当たっては「山形県病虫害防除基準」を参照し、カメムシ類に効果のある剤で防除を実施する。

### 山形県農薬危害防止運動実施中（実施期間 令和2年6月1日～8月31日）

農薬の使用に当たっては、**農薬使用基準（収穫前使用日数、使用回数など）を遵守する**とともに、周辺圃場の農作物や住宅地等へ飛散しないよう十分留意する。

また、広域的に防除を行う場合は、学校等公共施設、周辺住民、養蜂家等への防除計画の事前周知に努めるとともに、防除従事者は防除衣等の着用や体調管理に努める等、農薬使用による危害防止対策を徹底する。

表1 6月の巡回調査における果樹カメムシ類による被害果率

年次	樹種別被害果率 (%)					
	りんご		もも		おうとう	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半
本年	0	0.2	0.5	1.1	1.3	0.8
前年	0	0	0	0	0.1	0
平年	0	0	0	0	0.0	0.0

被害果率0.0%は0.05%未満を示す。



写真1 りんごの被害果



写真2 卵塊



写真3 ももに寄生する幼虫



写真4 クサギカメムシ成虫



写真4 チャバネアオカメムシ成虫

山形県病害虫防除所

本 所 tel 023-644-4241 fax 023-644-4746

庄内支所 tel 0235-78-3115 fax 0235-64-2382

山形県病害虫防除所トップページ

<http://agrin.jp/menu/t/790/>

病害虫発生予察情報

<http://agrin.jp/menu/t/563/>